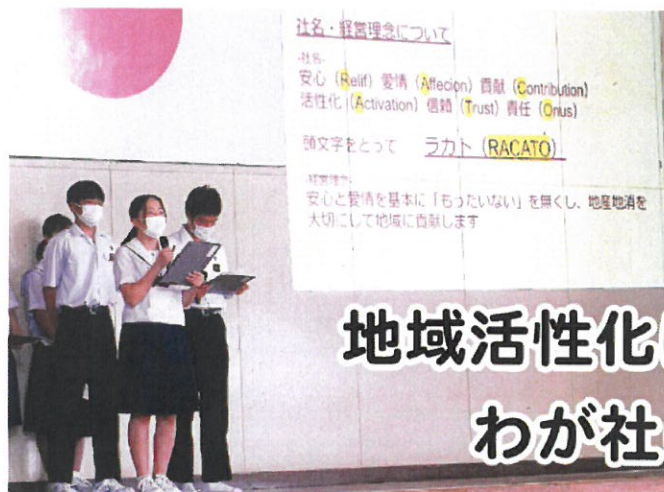




長崎県大村市立玖島
中学校の3年生は、地
域活性化を目的とし
た起業家体験学習を行
っている。校区内を3地
区5社に分け、株主か
ら出資を受けて生徒が
模擬会社を設立。社長
や副社長の他、総務
部、商品開発部などに

地域活性化は わが社にお任せを 生徒が起業体験

分かれ商品開発や販売
などを手がける。10月
の株主総会で決算報告
し、最終的に研究発表
会で成果を報告する予
定だ。

県教育委員会から研
究校の指定を受けて取
り組む「ふるさと」の
新たな魅力を創出する
「ヤリア教育実践事業」
の一環。

摘果ミカン商品化
JAがアドバイス
鈴田地区を担当する
生徒22人は「株ラカ
ト」を設立。「安心と
愛情を基本に『もった
いない』をなくし、地
産地消を大切にしてい
る。JAについて説明する
ラカトのメンバー
(長崎県大村市で)

域に貢献すること
を経営理念に掲げる。摘
果したミカンに着目
し、ジャムと入浴剤の
製作・販売を予定す
る。JAながさき県央
三鈴支店の出口大地指
導員が起業アドバイザー
として月に1回、商
品製造や販売でサポー
トする。

このほどラカトは、
保護者や住民向けに事
業説明会と株主募集集
会を開いた。事業内容
やメンバーの思いを伝
えて協力を求めた。社
長の後田晃宏さん(15)
は「部署ごとに情報を
共有し、鈴田のミカン
を多くの人に知ってモ
らえるよう頑張りたい
」と意気込んだ。

今後は、同地区のミ
カン農家の下で作業を
手伝い、摘果したミカ
ンで試作品を作る予定
だ。
(長崎県央)